

第九回 是川縄文の里 俳句大会 一般の部 入賞作品一覧

(以下、敬称略)

第一位	☆	虫鳴くや縄文の鬮引き寄せて	鶴田町	竹浪	誠也
第二位	☆	秋爽や土器の欠片に指紋あと	八戸市	鈴木	莉花
第三位	☆	故郷とどこか似し里木の実落つ	南部町	工藤	義人
第四位		縄文の記憶を秘めし栗拾ふ	八戸市	越後	則子
第五位		露けしや赤き顔料塗りし骨	青森市	加藤	健一郎
第六位		頬杖を解かぬ土偶や草は実	八戸市	磯沼	チヨ
第七位		深雪晴竪穴住居の闚覗く	階上町	岩村	多加雄
第八位	☆	数珠玉や土偶見澄ます子らの息	南部町	坂本	秀子
		秋蝶や漆器に小さき渦状紋	滋賀県	近江	董花
		星月夜土偶のかほの和みたり	六戸町	中澤	草子
		縄文の里の静寂や柿日和	八戸市	佐々木	敦子
第十二位	☆	名鐘に真向ふ遺跡萩の花	八戸市	黒田	長子
		御仏のよきかんばせや桃の花	八戸市	川守田	祐子
		眼下には世界の遺跡揚雲雀	八戸市	久保	武美
第十五位		月白し縄文村に煙立つ	六戸町	斎藤	幸子
		兄弟の遺しし土器や木守柿	八戸市	石垣	浩造
		縄文のムラから来たと秋の蝶	鶴田町	竹浪	誠也
		縄文を照らしし月と向かひけり	六戸町	中澤	草子
		練り切りの合掌土偶文化の日	八戸市	三浦	敬
第二十位		物憂げな頬杖土偶秋気澄む	八戸市	鈴木	莉花
第二十一位		柿の秋縄文時代は栃の秋	八戸市	長根	睦夫
		天高く縄文館は子等あふれ	階上町	中里	喜巳
		花冷えや見えぬ吾子抱く慈母土偶	小樽市	田中	寛子
		秋燈を灯して暗き鑑蔵	八戸市	西川	無行
		花野原頬杖土偶に逢ひに行く	八戸市	磯沼	チヨ
		縄文の交易広し天の川	六戸町	斎藤	幸子
		籃胎の漆器の笹目影さやか	八戸市	小笠原	聖子
		復元の土偶に太古の秋思かな	八戸市	佐々木	敦子
		満月やまろき土偶に孕み山羊	八戸市	畑崎	義則
		境内の掃かれて清し小鳥来る	八戸市	西川	無行
		鬼胡桃土偶と同じ色をせり	八戸市	箱石	直子
第三十一位		紅葉が縄文の里包み込む	八戸市	石木田	淳一郎
		颯の綺麗な土偶秋の雲	八戸市	嶋守	登
		まづは目で編むポシエツトや毛糸玉	八戸市	對馬	のり子
		銀漢や土偶発すか南部弁	弘前市	山上	恵子
		柿熟るる合掌土偶の出でし里	八戸市	石垣	浩造
		月影に合掌土偶の如き母	仙台市	久保	沙織

一般の部 応募数 85句

(選者) 小泉静子、郡川宏一、佐々木雅翔

佐藤幸子、鈴木志美恵、吉田千嘉子

☆：各選者が選んだ天位(色紙を贈呈)